

今後の市内公共交通について

次回会議にて、事務局案を提示する予定ではありますが、現段階で、デマンドタクシーと市内循環バスの運行について、アドバイスや疑問点意見等を伺います。

1. デマンドタクシーについて

【利用状況】

- ・市内循環バスが運行できない地域を含め市内全域で利用がある。
- ・東武東上線の東西別において、登録率や利用率は同等である。
- ・約9,000名の登録、年間1万件以上利用、約3,500名が利用している。
- ・70歳以上の利用が約64%と多いが、子育て世代にも利用されている。
- ・利用回数上限に達している人は登録者の3.8%の約350名となっている。
- ・鉄道駅から少し離れた地域の利用が多くなっている。

【要望】

- ・利用回数の増加
- ・補助金額の上限を増加
- ・運行時間の拡大

【課題】

- ・利用回数及び補助金上限の増加は補助金額が増大になり、財政負担が大きいこと。
- ・運行時間拡大は、運行をしているタクシー事業者との調整が必要であること。

(1) 令和4年4月1日以降の運行について

2. 市内循環バスについて

【現状】

- ・市内循環バスの運行当初は、東武東上線西側地域へも運行していたが、踏切横断により定時運行ができないこと、利用者が少ないことから、廃止した経緯がある。
- ・東武東上線西側地域への運行要望が出されている。
- ・関沢地域など狭隘な道路がある地域は、車両制限令に示されている道路幅員を確保できない。
- ・現在の台数で、西側地域へバスを運行するには、現在の運行本数を大幅減便する必要がある。
- ・近年、運賃収入が減少しているため、市内循環バスを持続可能にするために、地域公共交通会議に諮り、利用金改定を行いました。
- ・現状2台で運行しているため、これ以上運行本数を増加することは難しい。

【要望】

- ・東武東上線西側地域への循環バス若しくはワゴン車の運行
※西側地域のみでの運行ではなく、西側から東側への運行を望む
- ・東武東上線西側地域への循環バス若しくはワゴン車の試験的運行
- ・2市1町の広域的なバス路線の運行

【課題】

- ・バスの増台やワゴン車の導入は、財政負担が大きいこと。
(参考：バス運行約2,500万円/台、ワゴン車約1,000万円/台)
- ・安心安全な運行が可能な地域は、道路幅員の状況により限られること。

(1) 東武東上線西側地域の運行要望について

○市内のバス路線図(資料4参照)

○東武東上線西側地域で車両制限令に示されている道路幅員がある道路を緑色の破線にて表示

※ただし、通行が可能かどうかは、警察署、道路管理者との協議が必要となる。

(2) 鶴瀬駅東口区画整理事業に伴い鶴瀬駅東口の休憩所が廃止について 変更事項について

○9時45分市役所発 前谷住宅線

現在の運行 市役所～鶴瀬駅東口 休憩 鶴瀬駅東口～市役所

変更後の運行 市役所～鶴瀬駅東口～市役所 休憩